

## コウノトリ(コウノトリ科) 全長112センチ

我が家(大仙市北樫岡)の近くに、コウノトリが飛来するとは夢にも思っていませんでした。

放鳥されたコウノトリが県内に初飛来したのは昨年8月のことです。仙北市内に2か月間も滞在し、愛鳥家を楽しませてくれました。定期的に渡りをする鳥ではないので、再び秋田にやってくる保証はありませんが、また逢いたいものだど期待する人が多かったのも事実です。

ところが15日の朝、何の前触れや情報もなく、我が家の近くの田んぼに現れたのです。これにはびっくり。



4月15日、第一発見者となった記念すべき1枚。

車から200mほど先で佇む鳥は一瞬アオサギのようにも見えたが、双眼鏡で確認したら間違いなくコウノトリでした。右脚は黄色、黒。左脚は赤、緑のカラーリングが付き、背中には発信機が装着されています。

ネットで確認したら、福井県越前市で飼育され、まもなく2歳になる雌で、名前は「さきちゃん」でした。

4月20日の秋田魁新報に掲載されると、いっきに大仙市の話題となりました。



両脚のカラーリングで、さきちゃんと判明されました。



颯爽と飛びたった

15日と16日は確認されていたが、17日から行方不明となってしまいました。18日の午後、野鳥の会の仲間から連絡が入りました。隣の横手市で見つかったのです。

しかし、ここも翌日から姿が見えません。もう遠くに飛び去ってしまったのでしょうか。なかば諦めかけていたところでした、20日に再び大仙市の田んぼに戻ってきたのです。



田んぼの水路に入り、餌を探す。



コウノトリとアオサギ。仲は良いようです。

これまでの行動から、雄物川を挟んで対岸に行ったり来たりする生活パターンが見えてきたようです。

福井県自然環境課では、「大仙市がさきちゃんにとってすみ心地の良い場所だといい。飛来と一緒に幸せも訪れますように」と話しています。

大仙市は、昨年の仙北市と負けなくらいに住み心地が良いことと思っています。

どうか何カ月間でも逗留してくれるように願っております。



力強く羽ばたくさきちゃん。



風切り羽は白黒の縞模様でした。